

【学校推薦型選抜】一般推薦入学試験

〔併願制〕

この入学試験は、在卒学校の推薦に基づき、課題や作品および面接や書類審査によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。詳しくは「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

美術領域では、Ⅰ類～Ⅳ類に分類された各コースにおいて、第1志望と異なる他類のコースを第2志望として選択が可能です。(第1志望のみでも構いません。)

〈例〉 第1志望:現代アートコース(Ⅱ類) 第2志望:工芸コース(Ⅲ類)

(第2志望を選択した場合、1出願分の検定料で、第1志望および第2志望の2出願できます。)

出願資格

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2021年3月卒業見込みの者で、学業成績優良で出身学校長の推薦を受けた者(卒業見込み・既卒は問わない)
2. 本学が提示した推薦基準を満たす者

推薦基準

学部・学科・領域		教科全体の学習成績の状況(5段階評価)
芸術学部 芸術学科	音楽領域	問わない
	舞台芸術領域	3.8以上
	美術領域	3.0以上
	デザイン領域	3.2以上
	芸術教養領域	3.5以上
人間発達学部 子ども発達学科		3.0以上

※10段階評価の場合は5段階に換算します。

※卒業見込み者は最終学年の1学期または前期までのもの。既卒者は高等学校最終学年までの全体平均値を対象とします。

出願書類

- ①出願確認票
- ②調査書
- ③大学入学志望理由書
- ④活動報告書(任意)
- ⑤推薦書
- ⑥実技曲目記入用紙
- ⑦作品提出記入用紙
- ⑧声楽曲伴奏楽譜
- ⑨作品(事前課題)

※⑥～⑨は音楽領域で志望コースの選考方法により提出を必要とする場合のみ。

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学指定様式)もしくは「Jep(ジャパン・イー・ポートフォリオ)」にて提出してください。最大50点を加点します。(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③		
声楽コース 鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン) 弦管打コース	専攻実技(約10分・200点)	+	+		
ウインドアカデミーコース	選択科目 以下より、いずれか1つを選択				
	・楽器演奏(約10分・200点)				
	・指揮実技(約10分・200点)				
ポップス・ロック&パフォーマンスコース	・小論文(50分・200点)				
	選択科目 以下より、いずれか1つを選択				
ワールドミュージック・カルチャーコース	・ヴォーカル(約10分・200点)				
	・楽器演奏(約10分・200点)				
ミュージカルコース	選択科目 以下より、いずれか1つを選択				
	・楽器演奏(約10分・200点)				
ダンスパフォーマンスコース	実技 ヴォーカル・パート ダンス・パート (約10分・200点)			個人面接 (約10分・100点)	プラスα加点 (最大50点)
声優アクティングコース	実技 表現力(約10分・200点)				
サウンドメディア・コンポジションコース	選択科目 以下より、いずれか1つを選択				
	・歌唱(約10分・200点)				
	・楽器演奏(約10分・200点)				
	・作品提出(データ)(200点)				
ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース	・小論文(50分・200点)				
音楽ケアデザインコース	小論文(50分・200点)				
	選択科目 以下より、いずれか1つを選択				
音楽総合コース	・歌唱(約10分・200点)				
	・楽器演奏(約10分・200点)				
	・作品提出(データ)(200点)				
	・小論文(50分・200点)				

※詳細内容については、「選考方法詳細(音楽領域)」をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③	選考方法④			
全コース	基礎力検査[英数国](50分・100点)	+	集団ディスカッション (約30分・100点)	+	学習成績の状況(調査書) (100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

芸術学部 芸術学科 美術領域

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③	選考方法④
全コース	以下より、いずれか1つを選択	個人面接 (約10分・100点)	学習成績の状況(調査書) (100点)	プラスα加点 (最大50点)
	・実技(水彩)(6時間・200点)			
	・実技(油彩)(6時間・200点)			
	・実技(鉛筆デッサン)(6時間・200点)			
	・実技(木炭デッサン)(6時間・200点)			
	・考え方の表現テスト(4時間・200点)			
	・基礎力検査[英数国](50分・200点)			

※「実技」選択者は、実技で使用する用具一式(食パンまたはネリゴム、フィクサチーフ)を持参すること。なお、実技で使用するキャンパス(F15号)、水彩紙パネル(65×53cm)、木炭紙(MBM)、画用紙(65×50cm)、およびデッサンで使用するカルトンは本学で用意します。

※「考え方の表現テスト」は、与えられた課題を理解し、それに対する考え方や提案を図やことばで表現する試験です。

※「個人面接」の資料として、作品ファイル、自己アピール資料があれば持参可。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③	選考方法④
先端メディア表現コース	構想表現テスト(3時間) プレゼンテーション* [※] (約10分) (合計:200点)	個人面接 (約10分・100点)	学習成績の状況 (調査書) (100点)	プラスα加点 (最大50点)
文芸・ライティングコース	文章表現テスト(3時間・200点)			
その他コース (上記以外)	鉛筆デッサン(3時間・200点)			

※「実技」選択者は、実技で使用する用具一式(食パンまたはネリゴム、フィクサチーフ)を持参すること。なお、実技で使用する用紙は本学で用意します。

※「構想表現テスト」は、与えられたテーマに対してアイデアを構想し、作品を制作します。その内容をプレゼンテーションでわかりやすく伝える表現力を問うものです。

※「文章表現テスト」は、与えられた課題に基づき、文章による作品を創作する試験です。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③	選考方法④
リベラルアーツ コース	基礎力検査[英数国] (50分・100点)	小文記述(30分) 個人面接(約10分) (合計:100点)	学習成績の状況(調査書) (100点)	プラスα加点 (最大50点)

※「小文記述」は、個人面接開始前に実施し、それに基づき面接を行います。

人間発達学部 子ども発達学科

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③	選考方法④
全コース	基礎力検査[英数国] (50分・100点)	個人面接 (約10分・100点)	学習成績の状況(調査書) (100点)	プラスα加点 (最大50点)